

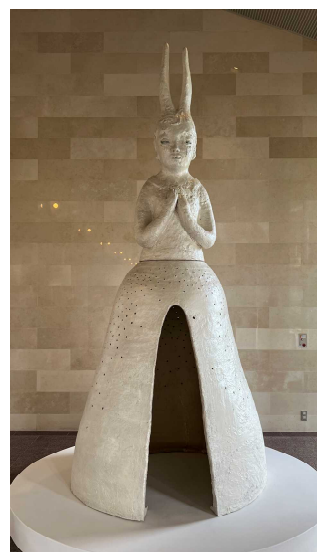
提供年月日：令和6年（2024年）6月18日
所属名：滋賀県立美術館
担当者名：小松（広報担当）
連絡先：077-543-2113
E-mail：museum@pref.shiga.lg.jp

県立美術館に **新たなシンボル作品登場** イケムラレイコの《うさぎ観音》を設置しました！

1 経緯

2024年5月27日（月）に、イケムラレイコさんが制作された《うさぎ観音》を、当館の展示室1・2の入口付近（無料で観覧可能なエリア）に設置しました。この作品は、イケムラさんが2012年から2014年にかけて、信楽にある滋賀県立陶芸の森のアーティスト・イン・レジデンス（滞在制作）に参加した際に制作されたものです。このたび、イケムラさんや陶芸の森と対話を重ね、イケムラさんの絵画とドローイングを日本で初めて紹介※したことでご縁のある当館に作品を設置することとなりました。

※1987年に開催した「シガ・アニュアル'87 主張する人体」展



2 《うさぎ観音》とは

《うさぎ観音》は、2011年の東日本大震災と福島原発事故をきっかけに構想されました。高さは約3m40cmあります。陶土で成形し釉薬をかけ焼成されています。タイトルは観音ですが、胸に手を当てたスカート姿（あるいはローブ姿）はマリア像を彷彿とさせます。大粒の涙を流しているのは、鎮魂の思いからでしょうか。また、うさぎはイケムラさんの作品にしばしば登場するモチーフで、繁栄や豊穡の象徴であるとともに、臆病さや弱者をイメージさせる動物でもあります。



イケムラレイコさん

三重県津市生まれ。大阪外国語大学スペイン語学科在学中の1972年にスペインにわたり、1979年に移ったスイスで本格的に作家活動を開始。1980年代半ばから現在まで、ドイツのベルリンとケルンを拠点に活動しています。様々な国、文化、言語を行き来しながら、油彩、水彩、ドローイング、彫刻、写真と多様な手法を用いて作品を発表しています。

